

令和 2 年 5 月 22 日

保護者の皆様

京都市立日吉ヶ丘高等学校

校長 本谷 一

学校の再開について

平素より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、また、長期にわたる新型コロナウイルス感染拡大防止の取組についても、御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、この度、政府による緊急事態宣言並びに京都府知事による休止要請が解除されたことを受け、本市立学校・幼稚園を 6 月 1 日（月）から再開する方針が教育委員会から示されました。

本校においても、本方針を踏まえ、下記のとおり、6 月 1 日（月）から再開し、引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底しながら、段階的に学校教育活動を再開して参りますので、御連絡申し上げます。

記

1 学校の再開について

- (1) 5 月 25 日（月）～29 日（金）まで、生徒の健康観察や 6 月からの学校再開についての諸連絡、オンラインの学習への適応状況の確認や相談を行う「登校日」を設けます（「授業」は実施しません）。その際は、各学級の生徒を 2 グループに分け（1 教室 20 人以下）て実施します。

そのうえで、6 月 1 日（月）から学校を再開します。

- (2) また、長期間に及ぶ臨時休業を踏まえ、生徒が学校生活に順応するための「分散登校期間」を 6 月 1 日（月）～5 日（金）まで設定し、公共交通のラッシュ時間を避けるために始業時間を遅らせたうえで、学年ごとによる「分散登校」と各学級の生徒を 2 グループに分ける（1 学級 20 人以下）ことにより教育活動を再開し、授業を実施します。

- (3) 引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底するため、生徒に対して、学校生活における行動様式の確認と指導を行いますので、御家庭でも御協力をお願いいたします。

本校の学校再開後の感染拡大防止の取組につきましては、別途お知らせいたします。

- (4) 学校再開後、分散登校期間以降も含め、当面の間、御家庭の意向で生徒の登校を控えられる場合も「欠席扱いとはいたしません」ので、学校へ御連絡をお願いします。

- (5) なお、今後も、国及び京都府の動向や本市域の感染状況等を踏まえ、教育委員会から示される対応方針が変更される場合があります、その際は、速やかにお知らせいたします。

2 登校スケジュールについて

5 月 25 日（月）以降、次の様な予定で取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

- (1) 5 月 25 日（月）～29 日（金） 学年別登校日

いずれの学年も A グループ（出席番号奇数）10:00 開始 12:00 完全下校

B グループ（出席番号偶数）14:00 開始 16:00 完全下校

5 月 26 日（火） 3 年次生登校日

5 月 27 日（水） 2 年次生登校日

5 月 28 日（木） 1 年次生登校日

(2) 6月1日(月) 分散登校日

1・2年次生は期間中3回、3年次生は期間中4回の半日程度の登校を予定しています。

ホームルーム活動、スタディサポート(1・2年次生)、進研模試(3年次生)を学年ごとに実施します。

詳細については、登校日およびGoogle Classroomでお子様へお知らせします。

(3) 6月8日(月)～ *当面始業時刻を繰り下げ、45分7時間授業を行います。

全校生徒が登校しての通常の学校教育活動を再開します。部活動についても、一定条件の下で再開する予定です。詳細は、後日お知らせします。

3 学校再開後の継続的な健康観察の徹底

(1) 学校生活のリズムに慣れていけるよう、早寝早起きや栄養バランスのとれた食事等を意識した基本的な生活習慣について、御家族で、より一層の励行と御指導をお願いします。(臨時休業期間からも、学校再開に向け、規則正しい生活リズムを心がけてください。)

(2) お配りしている「健康観察票」、毎日の入力をお願いしている「健康観察」をもとに、引き続き、生徒と一緒に健康観察に取り組み、生徒はもとより、御家族の体調や健康管理、保健衛生意識の向上について意識を高め、実践していただくよう、お願いします。なお、登校時には必ず、生徒に Google Classroom 上にある「健康観察」にその日の体温を入力させてください。

(3) 御家庭において、次のような状況が起こった場合は、速やかに学校(電話 561-4142)へ連絡してください。

- 生徒が、検査などにより新型コロナウイルス感染症と診断された
- 生徒に感染の疑い(疑似症)があり、検査を受けるよう医師等から言われた
- 御家族などが感染され、生徒や同居されている御家族が濃厚接触者として検査や経過観察が必要であると医師等から言われた

4 学校再開後の授業時数の確保等

今後、長期休業期間の短縮や学校行事の精選、短縮授業の見直しなどを通して、授業時数の確保に努めてまいります。詳細は決定次第ホームページ等を通して御連絡いたします。